

日蓮大聖人のお言葉

◆弘安元年（二七〇四月、日蓮大聖人御年五十七歳の時、身延から送られた「太田左衛門尉御返事」の一節で、下総の有力権越太田乘明師から本人の厄難消除・諸病平癒祈願が願い出された返書で、日蓮大聖人は「法華経は諸病の良薬であるから信心に励みなさい」とご教示されました。「日蓮にまかせ給え」と力強いお言葉で安心を与えられています。



法華宗

厄年^{やくごし}の災難^{さいなん}を

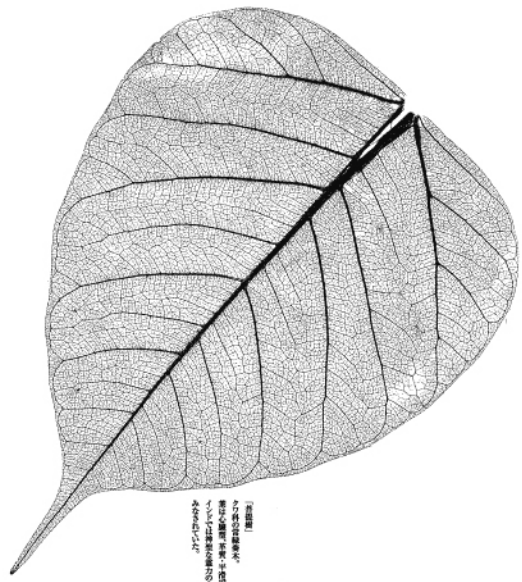
拂^ひはん秘法^{ひほう}には、

法華経に^す過ぎど。

耆年^{しにん}の大厄^{だいやく}をば、

日蓮に

まかせ給へ。



日蓮大聖人御年五十七歳の時、身延から送られた「太田左衛門尉御返事」の一節で、下総の有力権越太田乘明師から本人の厄難消除・諸病平癒祈願が願い出された返書で、日蓮大聖人は「法華経は諸病の良薬であるから信心に励みなさい」とご教示されました。「日蓮にまかせ給え」と力強いお言葉で安心を与えられています。

（太田殿お返事）